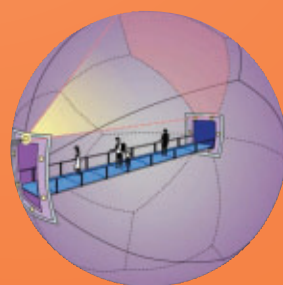




360°の音と映像に 包まれる、 驚きの世界へ。

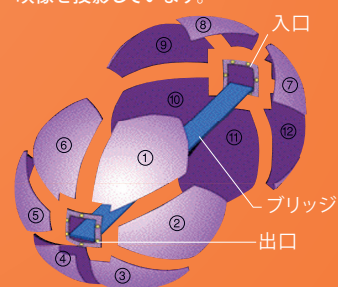
シアター THEATER 360とは？

2005年「愛・地球博」の長久手日本館で人気を博した「地球の部屋」が、国立科学博物館に移設され、「THEATER360（シアター・サン・ロク・マル）」として生まれ変わりました。直径12.8m（実際の地球の約100万分の1の大きさ）のドームの内側すべてがスクリーンになっていて、その中のブリッジに立ち、映像をご覧ください。360°全方位に映像が映し出され、独特の浮遊感などが味わえる世界初のシアターです。



THEATER 360 イメージ図

12枚の五角形で全球に
映像を投影しています。



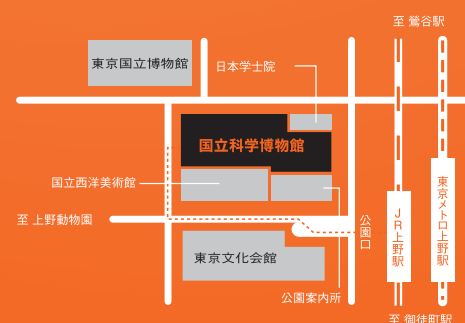
THEATER 360 の映像システム

シアター THEATER 360をご鑑賞にあたっての注意事項

- おことわり：映像の特質上浮遊感やスピード感があり、ご気分が悪くなるおそれがあります。特に、「小さいお子様」、「体調のすぐれない方」、「妊娠中の方」、「ご高齢の方」、「心臓疾患をお持ちの方」などは充分ご留意ください。また、「飲酒されている方」、「付き添いのいない未就学児童」、「未就学児童の団体」のご入場はご遠慮願います。
- 禁止事項：シアター内での飲食、上映中の撮影、携帯電話の使用、火気の使用。その他は係員の指示にしたがってください。

国立科学博物館利用案内

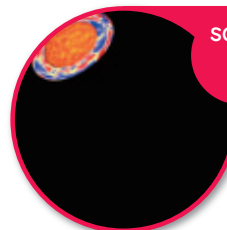
- 【開館時間】 9:00—17:00（入館は16:00まで）
金曜・土曜 9:00—20:00（入館は19:30まで）
- 【常設展入館料】 一般・大学生 620円（20名以上団体 310円）、高校生以下 無料
- 【閉館日】 毎週月曜日（日・月曜日が祝日の場合は火曜日）
年末年始（12月28日～1月1日）
※特別展等により変更することがあります。
- 【アクセス】 JR「上野駅」公園口から徒歩5分。
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分。
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分。※駐車場はありません。



モニターと地球を
内部の地球の内部

マントルと地球の変動 きょう い ー驚異の地球内部ー

プレートの運動によって大陸は分裂移動し、中央海嶺で生まれた海洋底は海溝から地球内部へ沈み込んでいます。そして地震や火山噴火をおこしながら、ときに大山脈も形成しています。これらの変動を解明するカギは、数億年かけてゆっくりと循環するマントルの動き。見ることのできない地球内部に入り込み、マントル深部からの上昇流と表面近くからの下降流による対流を追いかけます。



SCENE 1 プロローグ 地震波が伝える地球の内部構造

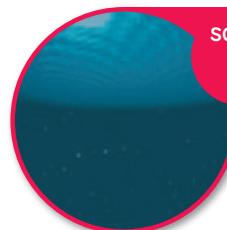


SCENE 2 2億年前から 現在までの大陸移動

これは約2億年前の地球。
といっても地球を中から見た、
地球の表面の様子です。
大きな一つだった大陸は長い時間を
かけて移動していきます。

これが現在の大陸の配置です。

大陸が動く、そのなぞは、
この地球の中にあるようです。
地球の中で、いったい何が
起きているのでしょうか。

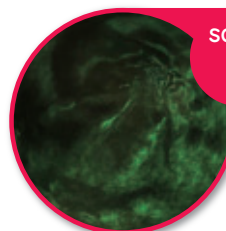


SCENE 3 深海の海溝から地球の中へ

では改めて、深い海の底、
「海溝」から、地球の中を
見に行きましょう。

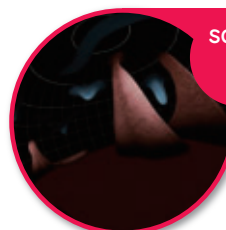


海溝では、「プレート」が、
地震を起こしながら、
陸の下に潜っていきます。
これから、このプレートと一緒に、
地球の中に入っていきます。



SCENE 4 プレートと一緒にマントルへ

地球の中は、固い「岩」からなる
「マントル」です。
マントルは、長い時間をかけて
粘り気のあるあめのように、
ゆっくりと大きく流れていることがわ
かっています。

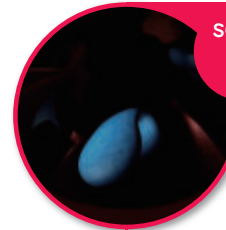


SCENE 5 マントルの中 (大きく動いているマントル以外は透明)

ここは、マントルの中。
下が地球の中心、上が地球の表面。
私たちは、今、マントルの大きな
流れだけを見えています。



地表まで昇っていくマントル、
地表から落ちていくマントル。
地表の大陸を変化させているのは、
この「ブルーム」と呼ばれる
マントルの動きなのです。



SCENE 6 地球の中心へ 落ちるコールドブルーム

上の方に、地球の表面近くで
冷やされたプレートが
溜まっています。
溜まったプレートが、その重みで
一気に地球の中心に落ちていく、
これが「コールドブルーム」です。

このような
大きなコールドブルームは、
現在、アジア大陸の下にあります。



SCENE 7 地表へ上昇するホットブルーム

ひと際大きく上に伸びていくのは、
地球の深いところで温められたため、
一気に地表まで上がろうとする、
「ホットブルーム」です。
このような大きなホットブルームは、
現在、南太平洋、
そしてアフリカ大陸の下にあります。
では、ブルームと一緒に、
地表に向かって行きましょう。



SCENE 8 マグマとなるホットブルーム

ホットブルームは地表に近づく
と一部が融けてマグマとなり、
地表を突き破り、火山の噴火を
引き起こします。



SCENE 9 アフリカ大陸を南北に縦断する 巨大な谷「大地溝帯」

そして、ブルームは、大陸を凄まじい
力で引き裂いていきます。



SCENE 10 アフリカ大陸から ユーラシア大陸上空

マントルの動きは、大陸を引き裂き、
時にはぶつけあわせたり、
何億年もかけて地球の姿を
変えていきます。
大山脈、大断層、中央海嶺、
海溝などの様々な地形…



SCENE 11 日本列島上空

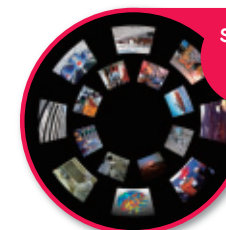
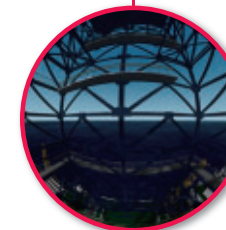
そして、私たちの日本列島も、
地球の内部の激しい動きで
描がれた姿です。

マントルは、今も私たちの暮らす
地表のずっと下で、ゆっくりと
動いています。



SCENE 12 海底から地球の深部を掘削する 地球深部探査船「ちきゅう」

地震波トモグラフィや深海底の
掘削など、地球深部への挑戦は
まだ始まったばかりです。



SCENE 13 研究者たちの挑戦

地球の大きな営みを解明すること、
それは将来の地球の姿を描く事に
繋がっています。
これから地球とともに生きていく
皆さん、ぜひ地球の謎解きに
挑戦してみてください。